

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年4月11日)

➤ **露軍が各正面で攻勢を強め、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続する一方、ウクライナ軍は火砲や砲弾、防空ミサイルなどの不足に直面する中で防御戦闘を継続**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

: 死傷者35.5万人以上 (英国防省24年3月3日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

- 露国防省は、ドネツク州アウディウカ正面に位置する**ヴォジャノエ村**を解放したと発表(4月5日)
- 「ウ」国防省情報総局長は、露軍が**晩春から初夏**にかけて**ポクロウシク方面(ドネツク市西方70Km)へ攻勢**を仕掛ける可能性がある旨指摘(4月7日)
- 露当局は、「ウ」軍が3日間連続で、自爆型ドローンを用いて**ザポリヅャ原発**を攻撃したと主張。「ウ」国防省情報総局長は、「ウ」は同攻撃に関与しておらず、**露の自作自演**であると発言(4月9日)

- 「ウ」戦略産業省次官は、今年1年間に**国内で200万機以上の無人機を製造可能**と発言(4月5日)
- プーチン大統領は、「**特別軍事作戦**」参加者向けの**一連の優遇措置**(死亡者の配偶者を死後1年間の解雇を禁止等)を規定した連邦法に署名(4月6日)
- 独ラインメタル社**は、政府の要請により、**2024年中にマルダー歩兵戦闘車20両**を「ウ」に納入する予定であると発表(4月9日)
- 米中央軍は、イランからホーシー派に輸送される前に押収した武器(**AK-47s、RPG-7s等の小火器5,000丁以上、7.62mm銃弾50万発以上**)を「ウ」に供与したと発表(4月9日)
- 米務省は、米国が「ウ」に提供した**防空システム「ホーク」**の機能維持・拡充のため、**1.38億ドル**規模の有償援助を「ウ」に実施することを承認(4月9日)
- 米欧州軍司令官は、現在、**露軍の砲撃5発**に対し「ウ」は**1発**で対応しているが、**近日中にその格差が10対1**となる可能性があると発言(4月10日)



- 「ウ」メディアは、「ウ」国防省情報総局及び「ウ」軍が、露国内の**エンゲルス空軍基地**において**Tu-95MS×3機**を、**エイスク市近郊の軍用飛行場**において**Su-25×2機**を破壊したと報道。また、**モロゾフスク基地**において**不明機×6機**を破壊したほか、異なる**不明機×8機**に**重大な損傷**を与えたと指摘(4月5日)
- 「ウ」エネルギー相は、先週の露砲撃の結果、少なくとも**80%の火力発電所**及び**50%以上の水力発電所**が被害を受けたと発言(4月8日)
- ゼレンスキー大統領は、「ウ」**防御陣地**の建設が進められている**ハルキウ州**露国境付近を訪問。ハルキウ州知事は、同州の「ウ」側要塞に、**塹壕**のほか、「**竜の歯**」、**対戦車壕**を整備していると発言。また、「ゼ」大統領は、防空アセットの追加を含め、同地域の新たな防空計画について、「ウ」空軍司令官と協議(4月9日)
- 「ウ」海軍報道官は、露が、**直近6か月間で2度目**となる**潜水艦からのミサイル攻撃**を行ったと発表(4月10日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源:ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等